

SWOT分析	プラス要因	マイナス要因
<b>内部環境</b> 【国府町が保有している資源(ヒト・モノ・カネ・情報)】	<b>強み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部から来た人との適度な距離感、市街地域は若者が多い。</li> <li>・多くの人はやる気がある。</li> <li>・地区公民館が活性化活動をよく頑張っている。</li> <li>・地域が独自に実施する事業(ホテルまつり、美敷水源地、池田家墓所)は長続きしている。</li> <li>・ガイドクラブ、文化協会など、文化に関わる組織がある。</li> <li>・農業生産加工販売組織(兔ッ兔ワイナリー、福田農園、アスパラ、就農舎等)がある。</li> <li>・果樹園(梨・ブドウ・メロン)がある。</li> <li>・日本の女性ハンターがいる。</li> <li>・県内で鹿の捕獲数が多い(ジビエ利用)</li> <li>・遺跡などが集中し、短時間で見学可。各種イベント開催。</li> <li>・旧市域と連携可能な距離感。</li> <li>・市街地からのアクセスの良さ。</li> <li>・万葉歴史館・廃校等の施設。</li> <li>・テーマ別にストーリー展開できる資源がある。</li> <li>・各時代の文化財が揃っている。</li> <li>古代：宇倍神社(祭)、板本廃寺(ホテルまつり)、</li> <li>近世：池田家墓所(保存会)、近代：美敷水源地(自治会)、平成：殿ダム(殿ダム支所)</li> <li>・雨滝・扇ノ山等の自然、ジオパーク。万葉集・古代歴史遺産。</li> <li>・因幡の傘踊り発祥の地。</li> <li>・人を国府町に引き付ける強烈な特徴のある観光資源(マニアック)</li> <li>・まだ知られていない、手つかずの資源がある。</li> <li>・関係人口創出の機会があるイベントがある(大茅ホテルまつり、盆野球、万葉ウォークラリー大会等)。</li> <li>・桜ライトアップや吉野そば、クレー等魅力的な取組がある。</li> <li>・商業施設(マルイ、ナフコ、サンマート)がある。</li> <li>・コンビニ(ファミマ、ローソン2)がある。</li> <li>・美敷牧場</li> </ul>	<b>弱み</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の高齢化と優秀な人材の流出</li> <li>・市街地隣接地区は人口が増えているが、山間地域で過疎が進行。</li> <li>・プロデューサーやコーディネーター役の不在</li> <li>・若年層の地元への関わり合いの低さ</li> <li>・行政に依存しがちな傾向がある(主体は地域、行政は支援)。</li> <li>・事業(マス釣り)に地域の方の参加が少ない。</li> <li>・やる気がある人の思いを結集して計画をまとめていく、また住民や団体、行政に連携の仕組みがない。</li> <li>・良好な素材はあるが付加価値が低い。団体の連携がない。</li> <li>・各地区単位で国府地域の一体感がない。</li> <li>・情報発信が弱い。多くの住民に文化財の価値が認識されていない。</li> <li>・宿泊場所がない。飲食場所等の不足。</li> <li>・活かしきれっていない施設(万葉歴史館、炭焼き小屋、廃校)が多い。</li> <li>・公共交通が弱い。</li> <li>・地理的に観光に不利(鳥取県の主要観光の流れからは外れどん詰り)</li> <li>・イベントのマンネリ化。</li> <li>・高齢化・後継者不足(伝統芸能、観光ガイド)</li> <li>・施設園芸がない。観光農園ができない。</li> <li>・ブランド、名産品特産品がない。</li> <li>・特徴的なメニュー(興味がある者には人が集まる)、観光ルートがない。</li> <li>・魅力がある、特徴がある食がない。</li> <li>・儲かる仕組みがなく、中心となる人の善意と意欲のみで継続性困難。</li> <li>・鳥取市全体、砂丘センター等、他施設でのPR、連携が不足している。</li> </ul>

## マイナス要因

## 内部環境

【国府町が保有している資源(ヒト・モノ・カネ・情報)】

## 強み

- ・外部から来た人との適度な距離感、市街地域は若者が多い。
- ・多くの人はやる気がある。
- ・地区公民館が活性化活動をよく頑張っている。
- ・地域が独自に実施する事業(ホテルまつり、美敷水源地、池田家墓所)は長続きしている。
- ・ガイドクラブ、文化協会など、文化に関わる組織がある。
- ・農業生産加工販売組織(兔ッ兔ワイナリー、福田農園、アスパラ、就農舎等)がある。
- ・果樹園(梨・ブドウ・メロン)がある。
- ・日本の女性ハンターがいる。
- ・県内で鹿の捕獲数が多い(ジビエ利用)
- ・遺跡などが集中し、短時間で見学可。各種イベント開催。
- ・旧市域と連携可能な距離感。
- ・市街地からのアクセスの良さ。
- ・万葉歴史館・廃校等の施設。
- ・テーマ別にストーリー展開できる資源がある。
- ・各時代の文化財が揃っている。
- 古代：宇倍神社(祭)、板本廃寺(ホテルまつり)、
- 近世：池田家墓所(保存会)、近代：美敷水源地(自治会)、平成：殿ダム(殿ダム支所)
- ・雨滝・扇ノ山等の自然、ジオパーク。万葉集・古代歴史遺産。
- ・因幡の傘踊り発祥の地。
- ・人を国府町に引き付ける強烈な特徴のある観光資源(マニアック)
- ・まだ知られていない、手つかずの資源がある。
- ・関係人口創出の機会があるイベントがある(大茅ホテルまつり、盆野球、万葉ウォークラリー大会等)。
- ・桜ライトアップや吉野そば、クレー等魅力的な取組がある。
- ・商業施設(マルイ、ナフコ、サンマート)がある。
- ・コンビニ(ファミマ、ローソン2)がある。
- ・美敷牧場

## 弱み

- ・市民の高齢化と優秀な人材の流出
- ・市街地隣接地区は人口が増えているが、山間地域で過疎が進行。
- ・プロデューサーやコーディネーター役の不在
- ・若年層の地元への関わり合いの低さ
- ・行政に依存しがちな傾向がある(主体は地域、行政は支援)。
- ・事業(マス釣り)に地域の方の参加が少ない。
- ・やる気がある人の思いを結集して計画をまとめていく、また住民や団体、行政に連携の仕組みがない。
- ・良好な素材はあるが付加価値が低い。団体の連携がない。
- ・各地区単位で国府地域の一体感がない。
- ・情報発信が弱い。多くの住民に文化財の価値が認識されていない。
- ・宿泊場所がない。飲食場所等の不足。
- ・活かしきれっていない施設(万葉歴史館、炭焼き小屋、廃校)が多い。
- ・公共交通が弱い。
- ・地理的に観光に不利(鳥取県の主要観光の流れからは外れどん詰り)
- ・イベントのマンネリ化。
- ・高齢化・後継者不足(伝統芸能、観光ガイド)
- ・施設園芸がない。観光農園ができない。
- ・ブランド、名産品特産品がない。
- ・特徴的なメニュー(興味がある者には人が集まる)、観光ルートがない。
- ・魅力がある、特徴がある食がない。
- ・儲かる仕組みがなく、中心となる人の善意と意欲のみで継続性困難。
- ・鳥取市全体、砂丘センター等、他施設でのPR、連携が不足している。

外部環境	機会	脅威
<p>【国府町をとりまく外的環境・要因、社会や市場の変化】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然志向・田舎暮らしの流行。観光がモノより体験型へ。ふるさと回帰（ふるさと難民）。地方創生の政治的流れ。</li> <li>・2025 関西万博、インバウンド需要、円安（内需の高まり、海外観光客からの流入）</li> <li>・観光会社との需要商品の確認（池田家墓所他）。</li> <li>・施設独自の来訪者への対応は宇倍神社だけだったが、現在は各施設で対応している。プラスチックラップ。</li> <li>・東部地区には多くの文化遺産が存在。県内に多くの遺産が存在し、連携できる。万葉集関連遺産等全国に存在。</li> <li>・麒麟のまちづくり。</li> <li>・鳥取市観光コンベンション協会との連携。</li> <li>・情報発信のあり方が一人の発想からどこにでも展開できる情報社会。</li> <li>・生成AI、SNS、ITで情報発信が容易に。インターネット光ケーブル開通へ。ドローン、自動運転・オフグリッド技術の向上</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が5類に移行。</li> <li>・アニメ「コナン」需要</li> <li>・クラウドファンディング</li> <li>・商業施設（マルイ、ナフコ、サンマート）との広報等の連携。</li> <li>・豊富な観光資源を小中高生に提供する機会。</li> <li>・小中学生の地域資源への愛着が定着するための機会。</li> <li>・地域の文化芸術の地産地消→消費社会から「ゆとり」を</li> <li>・成長社会から定常社会へ→豊かな生活（文化・社会活動）にシフト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少、超高齢化社会。</li> <li>・人材不足（若手・リーダー）、企業不足。</li> <li>・イベント実行者（商工会）の高齢化。</li> <li>・連携した取り組みがない。市内への移住者は多いが国府町は少ない。</li> <li>・フィッシングフェスタやこどもまつり等、千人規模のイベントは感染症が流行するとすぐ中止になるので、企画するのが定期的に難しい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症。</li> <li>・過度な円安による経済の低迷、インフレ。</li> <li>・ウクライナ侵攻により経済が低迷</li> <li>・10月からインボイス制度導入、小さな店にはマイナス。</li> <li>・他県に比べ悪天候が多い。</li> <li>・周辺化。このままでは埋没する可能性がある。</li> <li>・急激な環境変化（災害等）。</li> <li>・急速な中山間地域から市街地への人口移動に伴う耕作放棄地や獣害など、住環境の縮小がもたらす変化。</li> <li>・中山間地域の単独高齢世帯の増加と自治力の低下の顕在化。今後集落消滅の可能性。</li> </ul>

【文化・観光関係】

	提案概要	回答・対応方針要旨
○ 1	観光資源・特産品を活かしたまちづくりの推進	地域振興会議で史跡・文化財・観光をテーマとしたまちづくりを継続協議。
○ 2	国府町の歴史の再認識	
○ 3	新たな観光メニュー開発、愛郷心の向上	
○ 4	史跡巡りツアーの企画	
○ 5	観光振興に向けた地域資源の総点検	
6	「雨滝の名水」水汲み場整備	取水が困難なため設置は困難。
7	万葉の館の再開	・指定管理施設としての再開は困難。 ・イベント等でのスポット利用のみ可。
8	因幡万葉歴史館の大規模修繕	・タイムトンネル、トイレの洋式化、時の塔などの修繕は年次的に対応。 ・木下浸水発生防止対策、照明器具の増設、寒さ対策、展示物の更新等の大規模改修は継続検討。
9	菅野ミズゴケ湿原保存整備	・湿原の保護に向け、県・市で維持管理への支援を行う。 ・木道の老朽化に伴う修繕や拡張は今後検討。 ・ジオパークエリアの周知を継続的に行う。（いなば国府ガイドクラブとの連携）
10	イベントへの市民参画の促進	・万葉集朗唱の会はまち協が実行委員。 ・今後もまち協にイベントでの関わりを求める予定はない。
11	扇ノ山でのキャンプ・グランピング場の誘致	賑わいづくりの可能性が広がる一方、ゴミの不法投棄、近隣住民とのトラブル、交通量増加に伴う事故や火災などのリスクも課題。
12	麒麟獅子バスのルート拡大	鳥取市観光コンベンション協会と継続協議。現時点で対応不可。
13	フィッシングフェスタ会場の整備強化	水路の整備、導水は困難。

【空き家・公共施設関係】

	提案概要	回答・対応方針要旨
1	空き家の利用促進(賑わいづくり)	移住、店舗活用の事例を参考に適切に対応。
2	おおかや交流館の活用促進	遊休施設を活用した取組みに対して、国・県等との連携により支援を行う。
3	空き家、空き地の適正把握(危険空き家対策)	放置空き家等による災害等を未然に防止し、良好な生活環境の保全、安全で安心な地域づくりを推進する。
4	十王峠周辺公共用地の利活用	・県の残土仮置き場としてH30年度まで利用。 ・今後の利活用について継続協議。現時点で対応不可。
5	遊休公共施設の利活用による地域振興	・旧大茅・旧成器小学校は更新しない。 ・旧栃本児童館は総合支所として利活用（お試しハウス等）を検討したが、断念。
6	地区公民館の再整備	・鳥取市公共施設再配置基本計画に基づき計画的に改修。 ・軽微な修繕等は、緊急度に応じ対応。

【教育関係】

	提案概要	回答・対応方針要旨
1	学校施設の適切な維持管理	児童や他の施設に影響が出ると想定される樹木は優先的に伐採する。
2	不登校児童のサポート体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校とサポートルームが連携し、見学、体験、入級の手続きを進める体制。</li> <li>・令和5年度より学習支援としてeラーニング教材を活用したオンラインサポートルームを開設している。</li> </ul>
○ 3	宮ノ下放課後児童クラブの諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人当たりの面積は基準内。</li> <li>・学校、PTAの意向を踏まえ当面現状の活用を維持。</li> <li>・施設も老朽化しているため空き教室確保を前提に学校内対応を継続検討。</li> </ul>

【農林・土木・防災関係】

	提案概要	回答・対応方針要旨
1	避難場所表示の強化	指定緊急避難場所（屋外）を年次的に設置。
2	袋川整備（樹木伐採）	<p>〈国〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千代川水系河川整備計画及び維持管理計画に基づき実施。</li> <li>・国管理区間は下流より伐木、H28年度末中郷橋まで完了、H29以降も上流側を実施。</li> </ul> <p>〈県〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急に対応すべき箇所をリストアップし、優先順位により順次実施。</li> <li>・岡益橋から上流は比較的川幅が広く早急な対応は必要ない。</li> <li>・河川内のヨシ等は、川の流れを阻害するものではなく、撤去が堤防の基礎部分に悪い影響を与える場合もあり安易に撤去とはならない。</li> </ul>
3	有害鳥獣被害対策（ジビエ加工）	地区協議会が複数設立された後、国府地域連絡会を設立し検討を進める方針だったが、現段階で地域協議会は設立されていない。現時点で対応不可。
4	新規就農者の支援	県・JA・市等の関係部署が連携し、経営指導や課題把握に努める。
5	県道鳥取国府岩美線の観光道路化	県道鳥取国府岩美線拡張事業の早期完成について引き続き県に要望。
6	防災倉庫の設置率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に住民への救援活動を迅速的確に対応できる体制づくりに取り組む。</li> <li>・地域の防災活動を支援し地域防災力の向上に努める。</li> </ul>

【その他】

	提案概要	回答・対応方針要旨
1	中山間地域への移住促進	田舎暮らし先進事例等を研究しつつ、適宜適切に対応する。
2	外来植物の駆除促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市HPや市報でオオキンケイギクの駆除協力をPR。</li> <li>・市も県主催のボランティア作業に参加。</li> </ul>
3	老人クラブ、婦人会、青年団等各組織の強化	各団体との意見交換を継続。

\* ○継続検討案件

地域特定課題提案に対する現状

○提案の内容

提案委員	木下 敏明委員
課題名	放課後児童クラブの施設充実と運営方法改善
提案理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮下の施設は手狭（広い所で）</li> <li>・運営者と自治会、支所の3者での話し合いが必要</li> </ul>
課題の内容	うべのっこは、遊ぶスペースもなく手狭な状態で、離れた場所2か所（道路を挟んでいるので危険）に分離されている状況なので、解消したい

○放課後児童クラブの状況

児童クラブの状況	<p>【参考】R5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆うべのっこ児童クラブ 開設場所：国府町子ども交流会館 児童数：40名 児童1人当たりの面積：2㎡</li> <li>◆うべのっこ第2児童クラブ 開設場所：宮ノ下小学校3階視聴覚室（学校休業日は地区公民館2階大広間） 児童数29名 児童1人当たりの面積3.44㎡</li> </ul>
今後の対応	児童クラブの開設場所については、学校の空き教室等を最大限活用し、空き教室等がない場合は公共施設を活用することとしています。現在、保護者会から具体的な要望は挙がっていませんが、利用児童数や施設の状況等を踏まえ、必要に応じて学校・保護者会と協議をしていきます。